

『第一回バルトーク国際ヴァイオリンコンクール』2位受賞



日本人ヴァイオリン奏者：高木 凜々子（たかぎ りりこ）さん インタビュー

2017年9月にハンガリーを代表する大作曲家バルトーク生誕135周年を記念してリスト音楽院で開催された『バルトーク世界コンクール & フェスティバル』。記念すべき初回コンクールはヴァイオリン部門となり『第一回バルトーク世界ヴァイオリンコンクール』で見事2位を受賞された日本人奏者の高木凜々子さんが、3月ブダペストへ副賞として贈呈されたコンサートへいらっしゃいました。コンサートではハンガリーの皆さんから好評を受けて大成功を納めました。今後もハンガリー国内で彼女の演奏を聴く機会も多くなるようですのでご注目下さい。

Q1) 参加するきっかけは？

バルトークに興味があり、勉強したいという気持ちがありました。そのタイミングでコンクールがある事を知り、応募しました。

Q2) 開催場所がハンガリーという事についてどう思いましたか。

それまでハンガリーに行ったことがなかったのですが、綺麗な街だと聞いていたのでとてもワクワクしました。本当に素敵な街だなと感じました。コンクール期間中は観光できず残念でしたが、リスト音楽院で演奏させて頂いた事は本当に貴重な経験でした。

Q3) 現地入りする前に予選審査あったと思いますが通過報告が届いたさいの気持ちを聞かせてください。

書類通ったらいいなあ、そしたら頑張ろうという気持ちで応募しました。ですが通過報告が届いた瞬間、私はこのコンクールで取らなければならないという強い使命を感じ、顔つきも変わりバイオリンの練習に励みました。

Q4) コンクールはどのように進んでいったのでしょうか。

書類審査、一次予選、セミファイナル、ファイナル、グランドファイナルという5つのラウンドがありました。セミファイナルで演奏した「バルトーク無伴奏ヴァイオリンソナタの第4楽章」は今まで勉強したことがなく、本当に一から勉強したので音楽の流れを掴み、それを自分のものにするのに時間がかかったのを覚えています。今でも大好きで、時々練習します！

Q5) ファイナリスト3名に選ばれ、どのような想いで向かい合われましたか。

信じられませんでした。やっとここまで来た、という気持ちと同時に肉体的身体的疲労との戦いでもありました。前日にそのコンクールに参加していた先輩がお灸をしてくれて、とても体が軽くなったのを覚えています。(それ以降お灸は持ち物必須になりました笑)

出るまで緊張していたのですが、ここまで来たのに自分らしさを表現しないのはもったいないと思い、大好きなチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を楽しんで演奏することが出来ました。

Q6) 受賞された副賞としてハンガリーの数々のオーケストラや会場でソリストとして今年度招聘されていらっしゃいますが、どの公演も好評価を耳にしております。どのような感想をお持ちですか。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

演奏終わった後の拍手がとても印象的でした。お客様が一体となって喜んでくださっているのが伝わり、もっと演奏したい！という気持ちにさせてくれます。

Q7)バルトーク世界コンクール&フェスティバルの今年度はピアノ部門、2023年ヴァイオリン部門と予定され

ています。今後、挑戦される方々へメッセージを頂けますか。

頑張っしてほしいです。入賞を心よりお祈りいたします。

Q8)今年3月に大学を卒業されて今まで以上に日本国内外と幅広い活動をされていくと思いますが、

今後どのような活動そしてヴァイオリン奏者として進まれていかれるのかなどの想いを聞かせて下さい。ソリストとして活躍できるよう日本だけではなく海外にも活動の場所を広げていきたいと思っています。

【高木さんの次回のハンガリー公演情報】

2019年12月16日にソルノク市交響楽団、指揮は井崎 正浩氏とベートーヴェン作曲ヴァイオリン協奏曲の共演となります。是非、ご来場されてください。

高木 凛々子さんプロフィール：3歳よりヴァイオリンを初める。

第6回日本演奏家コンクール、第8回全日本ジュニアクラシックコンクールそれぞれ小学生部門第1位。

第62回全日本学生音楽コンクール全国大会第3位。第26回かながわ音楽コンクール、第4回横浜国際音楽コンクール、第64回全日本学生音楽コンクール東京大会、それぞれ中学生部門第1位。

2010年財団法人ヤマハ音楽振興会最年少音楽奨学生。2012年夏、ベートーヴェン国際コンクール第1位。

2014年第1回ユーロアジア国際音楽コンクール in Italy・2016年 in Spain それぞれ第1位。

2017年第1回シュロモミンツ国際コンクール第3位。第1回バルトーク国際コンクール第2位・特別賞受賞。

2018年ニューヨーク総領事館にてリサイタル開催、コシュシュカ財団よりキャリアグラント賞受賞。

第16回東京音楽コンクール第2位・聴衆賞。2018年度ローム音楽奨学生。

バルトーク世界コンクール&フェスティバルホームページ（英語サイト）

<https://bartokworldcompetition.hu/piano-2019>